

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	音楽A		
英文授業科目名	Music A		
開講年度	2007年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	長岡 英		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
mnagaoka@za3.so-net.ne.jp	

【主題および達成目標】
<p>西洋音楽史--交響曲の歴史--</p> <p>西洋音楽は私たち日本人の生活の中に溶け込んでいて、テレビ・コマーシャルなどにさまざまなクラシックが使われている。音楽Aでは交響曲を通して古典派から20世紀までの音楽史を概観し、クラシック音楽とその歴史に関する理解を深める。</p> <p>音楽の本来の姿は「鳴り響き」である。したがって試験では、授業で取り上げた曲のいくつかを聞いて、作曲家名、題名などを同定したうえでその曲に関して論述する、リスニング問題も出題する。西洋クラシック音楽に関する、大学生としての教養・常識を身につけることが目標である。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
世界史と音楽の基礎知識があることが望まれる。

【教科書等】

教科書：久保田 慶一、ほか「はじめての音楽史」音楽之友社

【授業内容とその進め方】

代表的な作品を時代順に聴き、分析することにより、交響曲というジャンルの意義が時代とともにどのように変化したか検討する。

予定

第1回 音楽史概観

4/18 休講

第2回 交響曲とは何か

第3回 古典派の交響曲1（ハイドン）

第4回 古典派の交響曲2（モーツァルト）

第5回 古典派の交響曲3（ベートーヴェン）

第6回 ロマン派の交響曲1（メンデルスゾーン他）

第7回 ロマン派の交響曲2（ベルリオーズ他）

第8回 ロマン派の交響曲3（チャイコフスキー他）

第9回 ロマン派の交響曲4（ブラームス）

第10回 後期ロマン派の交響曲（マーラー他）

第11回 20世紀の交響曲（ショスタコーヴィチ他）

第12回 日本人作曲家の交響曲（黛敏郎他）

7/11 休講

第13回 まとめ

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

2 / 3 以上出席して学期末試験を受けることが採点の対象となる条件。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないので、電子メールで連絡してください。

【学生へのメッセージ】

音楽的能力（楽譜を読む能力や楽典などの知識）は問わないが、毎時間、受け身で音楽を聞き流すのではなく、曲自体も覚えようとする積極的な態度が必要である。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【その他】